

(様式第3号)

企業・団体名(株式会社大和生物研究所蓼科工場)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (果などの取得証拠があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			女性でも活躍できる環境を整備している。実力があれば男性女性を問わず役職者に就いている。						5.1 5.5		8.5 8.8	10.2 10.3												
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本		【予定】	本社では実施しているので、工場での研修会を計画する					5.1 5.5			8.5 8.8													
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			36協定を定め、通常の業務では長時間労働は発生しない様にしている。									8.5 8.8												
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本		【予定】	工場ではGMPを遵守するのに日本語能力が高くないと支障があるので、現時点では採用予定はないが、将来的には人手不足解消のためにも採用を考えていく																					
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			クレーンや薬品を使う工程ではヘルメットやゴーグル等の保護具の着用、クレーンやボイラーの安全講習を受けさせている。また薬品や灯油が漏れた際の対応の訓練も実施。			3					8													
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			「心の健康づくりへの取組み」心の健康に関する相談体制の充実を図るため相談チームをつくる等の体制を構築している			3																		
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本		【予定】	多様な人材(女性、高齢者等)が作業可能な製造設備機器導入の計画をしている					5.1 5.5			8.5	10.2 10.3												
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			業務上必要な社内資格取得に向けた研修や、必要な教育訓練は実施している。今後は会社で定めた教育理念実現に向けた追加の能力開発を計画している。			4	5.5				8													
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			正社員、パート社員に対して雇用形態に関わらず個別の評価をして賃金を決めている					5			8.5	10.2 10.3												
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			会社としては実施していないが、工場では社員がリフトミントンやバレーボールを退社後に健康づくりを兼ねたレクリエーションとして実施している			3					8													
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			製造工程で発生するクマザサの抽出残渣は、産業廃棄物としてマニフェストでの管理をしている。一般廃棄物の種類・量など現状を把握し管理している。										11.6	12.4										
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			電気、灯油の使用量から二酸化炭素の排出量を把握している							7.3				12	13									
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			二酸化炭素の排出量削減に取り組むため、冷凍機や空調機の更新や使用量削減に取り組んでいる。更に削減するため製造機器の更新を計画している。							7.2 7.3				12.4										
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			製造工程で試用する薬品(食品添加物含む)や試験で使う試薬の適正管理は実施している。使用量の抑制に向けた工程改善を検討中。			3.9								11.6	12.4									

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
『SDGsの木』企業理念「自然随順」を幹に、会社の行動目標を木の枝にして、その枝に個人の活動を貼って花びらにしていくことでSDGs活動を共有。		自分自身が日頃行っているSDGsを、小さなことでも良いので、書いた物を「SDGsの木」に貼りだして皆で共有。四半期毎の全社会議では、交代で個人の活動の発表をしている。	1	2	3	4	5	6		8				12	13			15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定